



大泉西中学校だより

練馬区立大泉西中学校

校長 櫻井 弘

令和8年4月7日

第1号

基礎・基本の充実

校長 櫻井 弘

皆さん、入学・進級おめでとうございます。新入生179名、2年生176名、3年生171名、合計526名での新しい生活が始まります。新年度を迎えるにあたり目標を設定し、仲間や先生方と協力し目標実現に向け挑戦していきましょう。そして、主体的に考え行動することを大切に、楽しく充実した中学校生活としていきましょう。

さて、新年度の生活に臨み、大泉西中学校の教育目標を確認しましょう。

- 「豊かな心を持ち 思いやりのある人」 「自ら学び 正しく判断し行動する人」
「健康でたくましく生きる人」 「共に社会をつくる人」

第一の「豊かな心を持ち思いやりのある人」では、あいさつを大切にしていきたいと思います。あいさつは「より良い人間関係を築くための第一歩」です。あいさつから人間関係が作られ・広がり、多くの人と関わる経験をしています。その経験の中で思いやりについて考え実践し豊かな心を育てていきましょう。

第二の「自ら学び正しく判断し行動する人」では、学びや体験を最大限に生かすために、自主的・主体的に判断することを大切にしましょう。判断するための知識を身に付け経験を積み、そして、自分の判断に責任を持つ態度を大事にしていきたいと思います。

第三の「健康でたくましく生きる人」では、心身の健康のために、生活習慣や運動・栄養・休養のバランスを大切にしていきたいと思います。体力・気力を充実させ、目標を定め積極的に挑戦していきましょう。また、実現(成功)できるまで粘り強く挑戦を繰り返しましょう。

第四の「共に社会をつくる人」では、周りの人への気付きを大切にしていきたいと思います。仲間との協働による達成感・充実感の経験、自分の力が必要とされる状況での決断と行動力、自分が困っているときに協力をお願いできる関係作りなど、人との関わりの体験から学ぶことはとても大切です。

皆さんには教育目標を達成できるようにがんばってもらいたと思います。そのために、新たな環境へ一歩を踏み出した皆さんに大切にしてほしいことがあります。それは、成長の根幹となる「基礎・基本」の習得です。学習面では、教科書の音読や基礎的な計算、英単語の習得などがそれにあたります。また、生活面では「時を守り、場を清める」という言葉があるように、時間を守ることや挨拶、身の回りの整理整頓といった当たり前の行動を指します。これらは一見、地味で単調な繰り返しの思えるかもしれませんが、頑丈な土台がなければその上に大きな建物を築くことは不可能です。基礎という根が深く張っているからこそ、応用という大きな枝葉を伸ばし、花を咲かせたり実をつけたりすることができます。今、皆さんが地道に固めているこの土台こそが、将来、困難に直面したときに自分を支え、自らの足で力強く歩みを進めるための強固な武器となります。目的意識を持ち一日一日を大切にしていきたいと思います。

各ご家庭でも年度当初の機会をとらえ、1年後にどういう自分になりたいのか、そのためにはどうしていけばいいのかなど話す機会を作り、基礎基本の現状を確認してみてください。保護者の皆様と学校が子どもたちの目的達成のために、相互理解の上でそれぞれの立場から子どもたちに働きかけることで、充実した中学校生活を送ることができるよう、ご理解・ご協力・ご支援をお願いいたします。